

# 検索の豆知識

個別メソッド篇  
その5

探したい本があるけれど、どうしたらよいかわからない…。そんなアナタに検索の基礎、“コツのコツ”をわかりやすく伝授します。

今回のコツ

## 本学にない資料を探す・入手する 相互利用サービス活用のススメ

これまで紹介してきたOPACやデータベースを使って、求める資料を見つけることができましたか？

読みたい資料は見つかったけど、本学図書館にはなかった…。

そんなときは、どうすればよいのでしょうか。

今回は、本学にない資料の探し方・入手方法「相互利用サービス」について紹介します。



詳しい資料の探し方は  
「検索の豆知識個別メソッド①～④」  
を参照しましょう。

## 資料の探し方

見たい資料が決まっている？

決まっている

決まっていない

OPAC  
(本学蔵書検索システム)

個別メソッドその①、②、③参照

あった

資料の利用

なかった

データベースやレファレンス資料  
(CiNii、Webcat Plus、辞典等)  
を使って資料を探す

個別メソッドその④参照

うまく探せない

レファレンスカウンターへ相談

相互利用サービス  
(他大学資料の利用)

① 資料のコピーを取り寄せる  
「複写依頼」

② 図書を取り寄せる  
「貸借依頼」

③ 他館へ訪問利用する  
「他館閲覧」

相互利用サービスとは、読みたい資料が本学にない場合に限り、他大学の図書館や研究機関などの資料を利用できるサービスです。次ページより、それぞれのサービスについての詳細や申し込みに際してのポイント、注意点について紹介します。

相互利用サービス対象者は通学部生、大学院生、通信教育部生(※)、通信大学院生、教職員です。

※ 科目等履修生は申込不可。芸術教養学科生は、カウンターでの申し込みに限り利用可能。

## 相互利用サービス ① 複写依頼

😊 こんなときに便利!



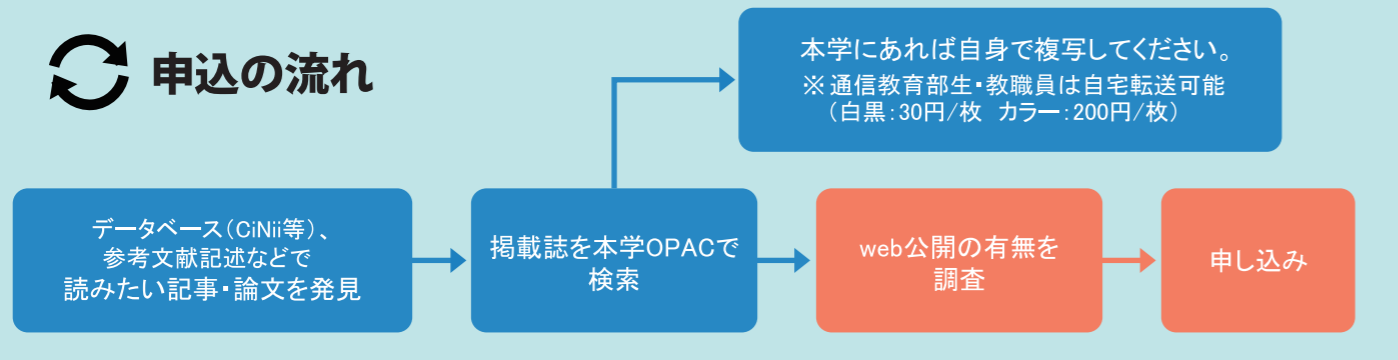
読みたい記事だけを  
手取り早く入手したい。

読みたい論文がたくさんあるけど、  
いろんな図書館を訪ねる時間がない。



サービス内容	図書資料の一部分(著作の半分まで)や雑誌論文の複写(コピー)を著作権法の範囲内で取り寄せてできます。
費用	複写料金(白黒:35円~50円 / 枚、カラー:80円~200円 / 枚) + 送料 ※ 上記複写料金は目安であり、依頼先によって異なります。
取り寄せにかかる日数	1週間~10日程度

### 🔄 申込の流れ



見たい記事・論文が見つかったら、まずは掲載誌が本学に所蔵されていないかOPACで確認します。所蔵がなければ、その記事・論文がweb上で無料公開されていないかを調べましょう。論文検索データベース「CiNii Articles」などからも、無料公開の有無を調べることができます。

- ▶ CiNii Articles <http://ci.nii.ac.jp/>  
※ CiNiiについての詳細は、『データベースの使い方「CiNii」』を参照してください。(館内にて配布しています。または当センターHP>発行誌>情報の探し方 よりダウンロードできます)

【CiNii PDF - オープンアクセス】【機関リポジトリ】  
無料公開されています。クリックすると論文をPDF形式で閲覧できます。データの保存・印刷も可能です。



## CiNiiに本文がなかった時は?

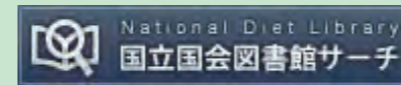
CiNiiの他に、下記データベースなどで無料公開されている場合があります。また、掲載誌発行機関のホームページで公開されている場合もありますので、チェックしてみてください。



▶ JAIRO <http://jairo.nii.ac.jp/>  
大学・研究機関の研究成果(研究紀要、研究報告書など)の全文を閲覧できるデータベース



▶ J-STAGE <https://www.jstage.jst.go.jp>  
国内で発行された学術論文全文を閲覧できるデータベース



▶ 国立国会図書館サーチ <http://iss.ndl.go.jp/>  
国立国会図書館や公共図書館の所蔵資料、ウェブ公開されている図書や論文などを網羅的に検索できるデータベース

### ◆ 申込について

※ 申込方法について詳細は当センターHP>利用案内>8. 相互利用サービス、通信生は当センターHP>通信教育部の方へ>4. 相互利用サービスを参照してください。

申込方法	カウンター、マイライブラリ、FAX・郵送(※FAX・郵送は通信生のみ)で受け付けています。
申込に必要な情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>論文名・著者名</li> <li>論文の掲載誌名、巻号、発行年</li> <li>典拠 </li> </ul>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>1論文につき1申し込みとなります。</li> <li>同じ雑誌・図書資料に掲載されている論文であっても、複数論文の場合は個々に申し込んでください。</li> <li>論文名が曖昧な場合や、記事の掲載誌が分からない場合は、事前にレファレンスサービスを申し込んでください。(レファレンスサービスについての詳細は、当センターHP&gt;通信教育部の方へ&gt;5.レファレンスサービスを参照してください。)</li> </ul>



### 典拠とは?

典拠とは、その論文を「何によって知ったか」という根拠です。

典拠が図書の場合、その図書のタイトル・出版社・発行年、雑誌の場合は加えて発行年月・巻号数、それぞれ何ページに、どのように記載されていたのかなど、できるだけ詳しく記入してください。データが不十分な場合はレファレンスサービスを申し込み、確定させることが必要となります。

- 記入例
- 『カミの現象学』(角川書店2003)p.274 参考文献 第一章 註24に記載
  - 『西洋美術研究』(三元社)17号 2013 p.65 註10に記載
  - 『三重県立美術館』webサイト <http://www.bunka.prefmie.lg.jp/art-museum/study/study04/study4ryusei1.htm> 注記13 など



## 相互利用サービス ② 貸借依頼

### 😊 こんなときに便利!



近くの図書館にはおいてないが、別の地方の図書館にはあるみたい。

一般に流通していない資料を探しているが、古書店で探すのも大変そう・・・。



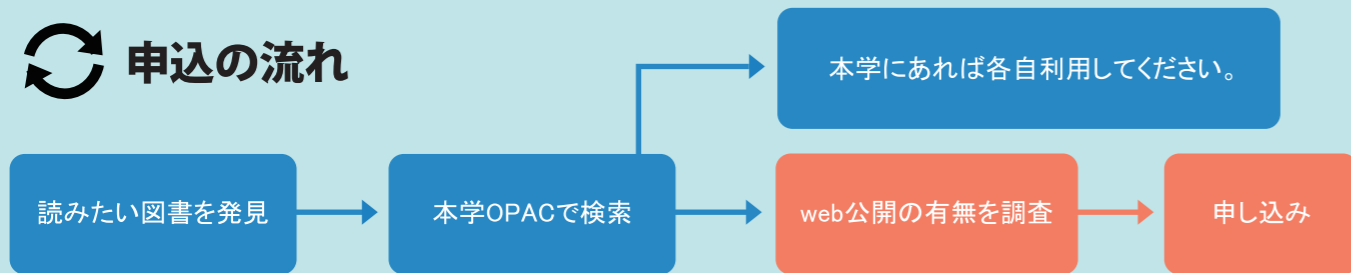
サービス内容	図書資料の現物を所蔵先より借り、当センター内で閲覧することができます。
費用	往復の送料(1200円～) ※ 資料のサイズ・重さによって料金は異なります。
借用期間	2週間～1カ月 ※ 所蔵先によって借用期間は異なります。
取り寄せにかかる日数	1週間～10日程度



資料の利用は図書館内のみとなり、館外への持ち出しはできません。



### 🔄 申込の流れ



見たい図書が本学に所蔵されていないければ、web上で無料公開されていないか右記データベースで調査しましょう。

### ▶ 国立国会図書館デジタルコレクション <http://dl.ndl.go.jp/>

国立国会図書館に所蔵されている図書・雑誌・古典籍のうち、インターネットで閲覧可能なデジタル化資料を検索できます。



全文を閲覧、印刷することができます。

### その他、図書のインターネット公開資料が検索できるデータベース

#### ▶ Google Books <http://books.google.com/books?hl=ja>

書籍内全文を対象に検索することができ、結果として表示された書籍の内容の一部(著作権の保護期間満了の書籍であれば全ページ)が無料で閲覧できます。

### ◆ 申込について

※ 申込方法について詳細は当センターHP>利用案内>8. 相互利用サービス、通信生は当センターHP>通信教育部の方へ>4. 相互利用サービスを参照してください。

申込方法	カウンター、マイライブラリ、FAX・郵送(※ FAX・郵送は通信生のみ)で受け付けています。
申込に必要な情報	・図書名、著者名 ・巻号、出版年 ・典拠 (本誌 p.3参照)
注意事項	・雑誌、視聴覚資料など、図書資料以外の取り寄せはできません。 ・資料の状態によっては複写できない場合があります。



相互利用サービスをぜひ活用してください！  
不明な点があれば、カウンターで  
相談してくださいね。

